

文化協会だより

【発行】
愛川町文化協会 広報委員会

【事務局】
〒243-0392
神奈川県愛川町角田 251-1
愛川町教育委員会
スポーツ・文化振興課内



愛川町将棋愛好会



愛川町押花協会



神奈川ふだん記



愛川町ふるさとまつり (H25.10.26 ~ 27)

愛川町民謡協会

今回久々に「文化協会だより」の発行が計画され、今日の日を迎えることが出来ました。愛川町は半原、八王子と共に絹糸産業により栄えてきました。行商には全国を回りその地域地域の文化を育んできたと言われます。当時のことを考えると、贅沢とか道楽とか言われてきたことかも知れませんが、現在では多種多様な趣味があります。愛川町の伝統文化はその辺が出発点ではないでしょうか。その証明は現在当協会20団体の多くが30周年から40・50周年と近郊文化都市に引けを取りません。そのような流れの中で、時代の流れに合わせて新しい方向性を積極的に取り入れ頑張っておりますが、大事なことは伝統を重んじること、その為には仲間だけの仲良し会ではなりません。今後には受け継いでゆく仕組みを模索し続けてゆきます。その為には各会が練習の成果を出来る限り多く発表し一人でも多くの人に興味を持って頂く事。

発表という楽しさの中で頑張っております。

文化は心の運動、体と心が両立してこそ素晴らしい人生となるよう「文化の町」を目指します。



愛川町文化協会会長
高橋 篤 則

文化協会だより発行にあたり

愛川町文化協会加盟団体の紹介

文化協会の各加盟団体は随時会員を募集しております。
愛川の町民文化と一緒に発展させませんか？詳しくは事務局までご連絡ください。
(TEL 046-285-2111 内線 3633・3632)

愛川水石奇木会

水石(すいせき)・奇木(きぼく)とは室内で鑑賞される自然石、自然木でさまざまな自然美を連想し、心を山水風物詩の世界に遊ばせるものです。

日常の雑踏から逃れ、大自然の素晴らしいロケーションに抱かれ、河原で、名石・名木を見つけ出そうとする無心の行為に、大きなロマンを垣間見ることができます。

当会では、只今、男女を問わず会員の増員を図っております。心を開いて、大自然に触れてみませんか。

【連絡先】 大峽 健一 TEL046-281-3426



愛川茶道協会

茶道協会は、発足して今年で25年を迎えました。日頃は、表千家、裏千家、庸軒流、宗偏流各社中で活動しています。全体の行事として、つつじまつり、ふるさとまつりに茶会を開催し、地域の方々と良い交流をしています。

今年度は、文化講座「初心者のための茶道教室」を行いました。短い時間ではありましたが、茶道の良さを知って頂く有意義な教室になりました。

一服のお茶で心癒し、人と人の和をつなぐ茶道に気軽にご参加下さい。

【連絡先】 柴田 明子 TEL046-281-1201



愛川町舞踊協会

舞踊協会は、8団体70余名で活動しています。

毎年秋に、町の文化会館で発表会を行っています。

年齢層も幅広く、小学生から80代まで元気に、日々お稽古に励んでいます。

ふるさと祭りの出演、町内外の施設へのボランティア活動も、積極的にしています。

また、毎年成人式に、着物手直しコーナーを開設し、着物や袴の着くずれ等お手伝いさせて頂いています。

最近では、着物を着る人も少なくなってきましたので、着物を着る機会を増やし、趣味と健康のために、これからも楽しく活動していきたいと思っております。

踊りに興味のある方のご連絡を、お待ちしております。

【連絡先】 諏訪部 清江 TEL046-285-2238



第30回 愛川町舞踊協会発表会 平成24年10月1日

愛川町民謡協会

私たち愛川町民謡協会は、町内に所在する民謡愛好団体の会員によって組織されている協会で、会員それぞれの技芸の向上と会員相互の親睦を図ることを目的としています。

各会の先生方の指導の下、毎年3月に開催している「発表会」、また南は沖縄の三線・北の津軽三味線と尺八の伴奏での唄と日本各地のお国訛りが飛び交う中での親睦会「夕涼み会」の開催と、生涯学習の一環として、会員一同が交流を深めることにより、微力ながらも地域文化の興隆に寄与することができるよう活動しています。

【連絡先】 会長 長谷川 隆 TEL046-281-4418



愛川町書道同好会

今年で30周年を迎えます。幅広い年齢層と、多くの会派で構成しており、それぞれの特徴を生かして研鑽を積んでおります。

展示発表会は、年3回(町文化会館での定期愛川町書道同好会展、ふるさとまつり文化展、愛川町郷土資料館展)行っています。

また、毎年行う町内旧跡の碑の採拓は、手順やよりよい方法を話し合いながらの作業であり、会員の親睦を深めるのによい機会となっております。

書に興味をお持ちの方、一緒に楽しみませんか。ご入会を歓迎いたしております。

【連絡先】 渡辺 勝弘 TEL046-281-1054



愛川さつき会

年間6回の講習会を行っています

6月第1の金、土、日、に花季展示会を開催し優秀な作品に表彰をしています。

初心者には、丁寧な指導を致しています、花の好きな人なら誰でも出来ます。

さつきは日本古来の植物です、花が咲いた時、又は、盆栽に仕上がった時などは感動、感激で心の中が喜びでいっぱいになります。初心者歓迎いたします。

【連絡先(事務局)】 岡本 福寿 TEL046-286-2224

みなかみ短歌会

会発足から45年、世の中もさまざまに変わりこの会でもかけがえのない多くの人たちを見送り、今はわずかな会員になりましたが月に1度の歌会を第3土曜日に開いています。

つねに日本語としての美しさ、定型短歌の響きと調べを最も大切なものとして、誰が読んでも解りやすい歌にする為に互いに意見を言い合い自分の思いをまとめようと真剣になるひとときを大事にし、そして和やかな会であることにも心がけています。

さらに、年1度の旅行も楽しみのひとつであり県の大会や新聞などの投稿に仲間同士が刺激を受けながら活動を続けています。

他に神奈川新聞社の依頼に年に何回かの寄稿も会員の励みになっていきます。

鉛筆1本で楽しいこと、悲しみ、廻りの四季の移ろいなどを短歌にして心の糧にするのも快いものです。

新しいお仲間のできることを願っています。

【連絡先】 梅澤 多枝子 TEL046-285-2461

愛川町将棋愛好会

レディースプラザで月1回、文化会館で月1回の将棋大会を開催しています。

将棋はお金もかからず、非常に楽しいゲームです。又強くなればなる程楽しくなります。又最初知らない人でも将棋を通じすぐ友人になります。おたがいに冗談を言ってわらいながら指すのも楽しいものです。

【連絡先】 荻田 繁男 TEL046-281-2082



愛川町歌謡協会

当協会は年2回の発表会を行っています。春と秋、また町内の祭りそして町のイベント等に協力させて頂いております。

来年結成28周年になります。会員の皆様はとても上達されております。日頃の研鑽の成果が表れています。皆様もどうぞ入会をお勧めいたします。歌は「心の灯び」健康にも役立っております。

【連絡先】 会長 金子 哲夫 TEL046-285-2764



愛川町吟詠連盟

愛川町吟詠連盟より1年間を通して行っている、事業並びに行事等を紹介させて頂きます。現在は六流派にて構成され、会員数40名にて運営を行っています。

勉強会2回、発表会1回、研修旅行、町文化交流のつどいに参加、親睦会等を行い諸行事終了後、吟詠を行っています。

「人の心」—春夏秋冬の趣一或いは人生の歴史を詩吟や剣舞によって、表現できると言う実践を通して、心身ともに養い、会員相互の親睦と地域文化の交流と向上を目指していきたく思っております。

吟詠は声を出して、吟ずるだけではなく、詩に和歌の持っている心を吟じ朗詠することによって、精神修養の一助になるのではないかと思います。

今後は日々精進を重ね、吟剣詩舞道、文化の高揚に微力ながら尽す所存でございますので、皆様方のご指導の程よろしくお願い申し上げます。

会長 井上 幾宏

愛川華道協会

当協会は昭和 57 年に発足し、今年で 32 周年を迎えます。12 流派の会員 110 名です。

会員個々の活動の他、当協会のいけ花展（レディースプラザ）では入場者 600 人にのぼります。武相華道連盟（10 団体）神奈川県華道連盟（23 団体）に加盟、それぞれの華道展に出品、ふるさと祭に参加、伝統文化こども教室での指導、中津公民館には各先生が年間を通じて、カウンターへ交代でお花を展示、華道を通し、県内、各市町村と交流を計ると共に会員相互の親睦を図りながら、地域文化の向上に寄与してゆきたいと思えます。

こども教室では毎月 1 回次世代を担う子ども達が学生、中学生を対象に実施、子どもらしい心豊かな優しい心をお花に伝えていけたらと力が入ってしまいます。楽しみの一つです。

【連絡先】 会長 原 理多寿 TEL046-285-1802



スリーエークラブ

当会は昭和 43 年 12 月、絵画同好者 6 名により、AIKAWA、AMATEUR、ART の頭文字を採ってスリーエークラブと命名して立ち上げられました。

発表以来、運営に携わった役員、会員の努力により、研鑽と親睦の場としての当会が存続、継承されて来ました。

当初から、相談役大根田雄康氏の指導のもと研修活動が行われ現在は作品の講評も、願っています。又、会員の中には中央画壇への出品者もあり、他の会員の刺激剤にもなっています。

会員は現在 35 名。絵のジャンルは多岐にわたり、それぞれ個性を発揮して研鑽に励んでいます。

当会は会員を随時募集しています。入会希望の方は御一報下さい。

【連絡先】 小田 道和 TEL046-285-4631

神奈川ふだん記

記録の花は、文化の花。記録は力、記録に残す。あなたの人生記、生活記、旅行記、自分記、住民記。

私共は年 2 回、300 頁の機関誌「やまゆり」を発行しています。

あなたが書いたものは、必ず掲載され活字になります。あなたの記録を見たとき必ず心の花となり、その花は、見るたび喜びの花となりそれが、きっと生きる自信にもなって行きます。

これまで、「愛川町の昔と今」という地域に密着した機関誌を別冊として 1 号 2 号と発行しています。

文章は誰にでも書けるがモットーです。

文章は「下手だから」とみな敬遠します。下手でもいいのです。自分のこと親のこと、子供のこと、懐かしいこと、思い出、その記録が歴史文献です。そして、あなたの息子さん娘さんたちまた地域の人たちの喜びの力となるのです。

【連絡先】 足立原 美智子 TEL046-285-2973

愛川ばら会



世界バラ・コンテストで一等になった故小島利徳氏を中心に発足した会で、県内外から集まってくる会員は約 100 名です。年 5 回の講習会、2 回の展覧会、1 回の研修旅行を実施しています。ガーデニングの一部にバラを取り入れている会員もたくさんいます。

あなたのお庭にもバラを一本植えてみてはいかがでしょうか？新しい品種は病気にも強く育てやすいので簡単ですよ。

【連絡先】 小島 信章 TEL046-281-6080

愛川演劇協会

演劇協会は、文化グループ新星とみやま会の 2 団体で構成、演劇活動を展開しています。みやま会（箕輪地区）は昭和 47 年に設立、今年 40 周年を迎えた区切りの年から、みやま会を紹介し、箕輪には、慶応年間（1865～1869）より村芝居として義太夫・歌舞伎が秋祭りに下箕輪地神社で村の若者たちで演じられた歴史があり、それを受け継ぐために結成された団体で、毎年、地神社奉納演芸は継続しています。

今年は記念行事として『森の石松と七五郎』を上演いたしました。奉納演芸以外に愛川町・茅ヶ崎文化会館落成記念行事の演芸大会、神奈川テレビ出演、地域老人ホーム慰問等行っています。

マジック愛川クラブ

昭和 59 年設立したクラブで、愛川町文化協会、愛川町ボランティア連絡協議会、県央マジック連盟に加盟しています。毎月 2 回の例会を行い、ハンカチや新聞紙、コップなど身近な物を使ったマジックから、マジック専用の道具を使ったマジックと会員により 18 番があります。また、腹話術や南京玉すだれもお得意としています。出演は、観客が 20 名位から数百までを対象として、子ども会行事、自治会行事、小学校や幼稚園の行事、各種記念行事が多く、最近ではデイサービス等でも皆さんにマジックを楽しんでいただいています。平成 25 年 10 月 19 日には、創立 30 周年記念・第 4 回マジックフェスティバルを愛川町文化会館で行いました。会員もご来場の皆さんも楽しめたイベントになりました。

お声かけがあればどこへでも出演しますので、マジックショーを楽しんでください。

【連絡先】 会長 井上 桂 TEL・FAX 046-285-0352



愛川町写真クラブ

創立 50 周年を迎えた歴史ある会です。昨今、写真やカメラは身近なものとなり、誰もが手軽に気軽にきれいな写真を撮楽しむことのできる時代になりました。

でも、カメラがいかに高性能になろうとも、どこにどのようにカメラを向け、いつシャッターを押すかは人間が決めること。

その瞬間の緊張や感動、またそこに至る過程での工夫や努力、自然の織りなす風景や人々の喜怒哀楽など様々な事象との出会い、カメラを持つことによって得られる楽しさや喜び、写真を撮ることの奥深さへの再認識、そしてそれらを共有し共感する仲間との関わり。これらすべてが 50 年の歴史を刻んだゆえんです。

撮影会、学習会、写真展など、活発に活動しています。写真に関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

【連絡先】 藤本 弘 TEL046-285-2865



愛琴会

愛琴会は現在 9 支部あり、大正琴の音色に魅了された仲間との絆を大切に活動しています。

昨年は創立 30 周年の節目として、全会員との親睦交流会や手づくり記念誌「愛琴会 30 周年のあゆみ」を作成しました。

日頃は月 2 回の練習の他、町内外の施設へのボランティア演奏、本部主催の定期演奏会、ふれあいコンサート、ふるさとまつり、中津公民館まつりの出場等、大正琴を弾くこと、聴くことを生涯学習として、楽しんでいきます。

【連絡先】 会長 小野澤 マサエ TEL046-281-1168



愛川町文化協会役員名簿

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

職名	所属団体	氏名
会長	愛川町写真クラブ	高橋 篤 則
副会長	マジック愛川クラブ	成瀬 和 治
"	愛川華道協会	原 理 多 寿
会計	愛川茶道協会	柴田 明 子
書記	愛川町書道同好会	渡辺 勝 弘
監事	神奈川ふだん記	沼田 穰
"	愛川町囲碁連盟	神田 政 晴
理事	みなかみ短歌会	梅澤 多 枝 子
"	愛川町写真クラブ	藤本 弘
"	スリーエークラブ	小田 道 和
"	愛川水石奇木会	大狭 健 一
"	愛川町吟詠連盟	井上 幾 雄
"	愛川町囲碁連盟	鳥山 英 昭
"	愛川演劇協会	有賀 照 男
"	愛川町民謡協会	長谷川 隆
"	愛川さつき会	渡辺 修 三
"	愛川華道協会	荒井 喜久枝
"	愛川町舞踊協会	諏訪部 清 江
"	愛川町将棋愛好会	荻田 繁 男
"	愛 琴 会	荻田 允 子
"	愛川町書道同好会	大野 ハ ル
"	愛川町歌謡協会	金子 哲 夫
"	愛川茶道協会	今井 ふく江
"	マジック愛川クラブ	高村 敏 雄
"	愛川ばら会	木藤 孝 一
"	神奈川ふだん記	足立原 美智子
"	愛川町押花協会	小野澤 純 子
顧問	愛川華道協会	遠藤 理 敏

愛川町囲碁連盟

年間 6 回の町大会を開催し、棋力によって A・B クラスに分け賞品も多数用意しております。又初心者教室も充実していて、囲碁を覚えてたての人も大歓迎です。

囲碁は特に右脳を使う為、小、中学校で取り入れてる所も少なくありません。又年配の人達にもポケ防止に役立ちお金もかからずこれからのライフワークにピッタリだと思います。

【連絡先(事務局)】 神田 政晴 TEL046-285-2412



愛川町押花協会

今年度、押花協会は、町文化協会に加入して 10 周年目を迎えました。

平成 26 年 3 月 14 日(金)～16 日(日)文化会館にて創設 10 周年記念作品展を開催します。

【3 月 18 日(火)～27 日(木)愛川町郷土資料館】

会員は、20 代から 80 代の幅広い年齢層で押花を始めたばかりの方から押花歴 20 年を超えた会員まで様々です。

自然の恵みに感謝して、制作する喜びを大切にしながら和やかで楽しく活動しています。

花、草木、野菜、くだものなど、さまざまな植物を押し花にして展示します。是非ご覧ください。

【連絡先】 小野澤 純子 TEL046-281-4187

活動助成事業の報告

文化協会加盟の20団体はそれぞれに、展示や発表会、各種教室の開催など、町民に向けた様々な活動を行っております。また、協会もそうした活動を支援しております。ここでは2つの団体の事例を報告します。

愛川演劇協会



演劇協会・みやま会の主な演劇活動は、昭和50年より毎年行う、下箕輪地神社での奉納演劇で、白波五人男(白波狂言代表作、稲瀬川の勢ぞろいの場面)、父帰る(菊池寛の代表作)を皮切りに、座長一座等でおなじみの、暁の母、血煙(ちけむり)赤城山(勘助首切りの場)等演じて参りました。地神社以外でも他地区神社での奉納演劇、愛川町・茅ヶ崎文化



会館落成記念行事の出演、老人ホーム慰問、テレビ神奈川出演など、初舞台から38年間、長きにわたり演劇活動を行って参りました。今年はやま会結成40周年の年から区切りの行事と位置づけ、

若手に奪われていた主役の座を、発足当時より在籍するベテラン団員で担い味のある芸をと、老骨にむち打ち、地神社奉納演劇『森の石松と七五郎』を上演いたしました。追伸、インターネット(YouTubeみやま会)で上演状況を配信しています、興味のある方はご覧下さい。

マジック愛川クラブ



マジック愛川クラブは、創立30周年を迎えました。その間、愛川町文化協会、愛川町ボランティア連絡協議会、県央マジック連盟の皆様方、そして、ボランティア活動で出会った地域のたくさんの方々に支えられ、こうして30年を迎えられました。

そこで、お世話になった皆様方への感謝の意味を込め、また会員の一層の技術向上を願って、平成25年10月19日に創立30周年記念第4回マジックフェスティバルを開催しました。フェスティバルでは、「よさこいダンス

チームFunny」や兄弟クラブである「海老名マジッククラブ」の皆様をはじめ、多くの方々のご支援、ご協力を得ました。当日は、360名程の皆さんにご来場いただきました。ありがとうございました。小さなクラブではありますが、これから

愛川町写真クラブが 長野県立科町に作品展示 —文化協会 友好都市交流事業—



愛川町写真クラブが、立科町文化展に出展しました。友好都市の愛川町と立科町は、例年様々な交流を行っております。愛川町文化協会も、毎年作品交流を通して友好を深めており、今回は愛川町写真クラブが作品を展示しました。

立科町文化展は、11月1日〜3日の間、立科町中央公民館とふるさと交流館の2会場に分かれて開催されました。作品展は立科町内の小中学生をはじめ、立科町写真クラブなど種々の趣味の会や創作グループが一堂に会して展示し、参加団体相互の交流を図ると

ともに広く町民の鑑賞に供することをねらっているもの。今年で41回目を迎える、歴史と伝統もあり、町民に広く知られ親しまれている展示会です。

愛川町写真クラブが展示した作品は、会がこの数年間にわたり撮影に取り組んできた「愛川の祭り」(半原神社八雲祭、半僧坊春の大祭、八幡神社春の例大祭、三増合戦まつり)の力作46点。所狭しと並べられた作品に、来館した立科町の人たちは興味深く見入っていました。今回の作品展示もまた、立科町の人にとって、愛川町の歴史や伝統文化を知っていただくよい機会となったと思われます。作品搬入や搬出にあたった愛川町写真クラブの人にとっても、立科町を訪れ交流を深めるよい機会となりました。



編集後記

「文化協会だより」第1号は平成14年3月に、第2号は翌年の平成15年3月に発刊されました。あれから11年、役員会で再発行の思いが再燃し、ここに第3号発刊の運びとなりました。関係者各位に感謝申し上げます。

【広報委員会】

- 委員長 藤本 弘
- 副委員長 荻田 允子
- 委員 小野澤 純子
- 委員 荒井 喜久枝
- 委員 鳥山 英昭
- 委員 高村 敏雄
- 委員 渡辺 勝弘
- 委員 木藤 孝一
- 委員 沼田 穰
- 題字 愛川町書道同好会 渡辺勝弘氏